

<題材>

曲の気分を感じ取ろう

(教科書 P.52~55)

曲の感じやその変化を感じ取って、えんそうしたりきいたりしましょう。

【教材】 「オーラ リー」

阪田寛夫 日本語詞／ジョージ プルトン 作曲／長谷部匡俊 編曲
(教科書 52、53 ページ)

■ それぞれのパートのとくちょうを生かして、息の使い方に気をつけながらえんそうしましょう。

- ① 教科書の楽ふを見ながら「リコーダー1」を階名で歌ってみましょう。
※「階名」とは？教科書9ページでふりかえってみましょう。
- ② 教科書の楽ふを見ながら「リコーダー1」をリコーダーでえんそうしてみよう。
- ③ 教科書の楽ふを見ながら、「リコーダー2」を階名で歌ってみましょう。
- ④ 教科書の楽ふを見ながら「リコーダー2」をリコーダーでえんそうしてみよう。
※リコーダーの運指は、教科書70、71の「リコーダーの運指表」でかくにんできるよ。

⑤ 「オーラ リー」からどのような曲の気分を感じ取りましたか。

⑥ 「リコーダー1」と「リコーダー2」それぞれのパートにはどのようなとくちょうがありますか。

●せんりつの感じは？音の高さは？いろんなし点で考えてみよう。

⑦ ⑤や⑥のことをもとに、どんなことに気をつけながらえんそうするとよいか、考えてみましょう。

※高い ミ は、サミングでふきましょう。ふき方は、教科書32ページでかくにんできるよ。
教科書33ページを見ながら、サミングの復習をしてみるといいよ。

